

2020 - 2021 会長 吉田克人 幹事 加藤宏治

Vol.21 1837 2021.4.14

吉田会長挨拶

本日はお忙しい中、茅野ロータリークラブ40周年記念例会に出席いただきありがとうございます。



今年、茅野ロータリークラブは40周年の記念の年を迎えることになりました。ちなみに日本のロータリーが今年100周年という年でもあります。

茅野ロータリークラブは1981年1月26日に富士見ロータリークラブ五味一特別代表をはじめとする先輩諸兄のご尽力により茅野ロータリークラブが誕生したわけです。

今年40周年を迎えることは、ひとえにクラブ創立以来ロータリー活動で携われた先輩諸兄の情熱でありご助言頂いた地域の方々のご理解ご支援の賜物と深く心より感謝申し上げます。

茅野ロータリークラブは、創立以来40年会員が一つになり個性を磨き伝統を築き上げ、友情の場を広げ会員自身の向上もはかり、社会奉仕の精神をはぐくんでまいりました。

現在ロータリークラブ会員は55名います。そのうちチャーターメンバーが3名在籍していますことは大変うれしく喜ばしいことでもあります。チャーターメンバーの中には、例会100%出席を35年間続けておられる本日出席されておりますが、矢崎和幸会員がおります。本当にありがとうございます。

女性会員も現在茅野ロータリークラブでは4名の方が在籍しております。例会等で和やかなムードの中で活躍しております。年齢的には、平均年齢が60半ばくらいですので若干若いメンバーに入会していただきながら事業していきたいと思っています。

昨年、新型コロナにより毎週の例会もままならない状態です。数々の事業に支障が出て思うようにしておりません。クラブ活動は長きにわたり先輩諸兄が海外留学の派遣また受け入れ、環境問題への取り組み、また地域の青少年を対象とした幅広い人材育成の事業への支援に力を注いできました。特に子どもたちは地域の宝でもあり、育った子供たちが将来故郷に戻り大いに活躍することを心より願って活動しています。

思い起こせばちょうど10年前30周年記念の年には東日本大震災があり、また今年40周年は昨年よりの新型コロナで生活が一変しました。コロナ下では私たちの生活や活動に大きな変革をもたらし、青少年の海外交流、また米山奨学生など、ここ数年事業は思うように遂行できません。とても残念であります。

でも、これからロータリーは地域の皆さん方のご支援ご指導を頂きながら、次の50周年に向かい職業を通じ超私の奉仕のことを考えながら活動していきたいと思っております。短い文ではありますが本当にお礼の言葉とさせていただきます。今日のご挨拶とさせていただきます。

本日は本当にありがとうございました。

※別紙幹事報告書

ニコニコBOX

- | | | |
|----------------------------|----------|---|
| 人数
30人
金額
93,000円 | ◎吉田 克人会長 | 本日はお越しい頂きありがとうございます。 |
| | ◎加藤 宏治会員 | 40周年を祝って。 |
| | ◎長崎 寛文会員 | 茅野ロータリークラブ40周年を祝します。本日はご参集ありがとうございます。 |
| | ◎小尾幸太郎会員 | 40周年をお祝いいたします。うれしいことがありました。愛車のR1000RSが半年ぶりに修理から直ってきました。 |
| | ◎柳澤 孝男会員 | 今月中に孫5号が生まれる予定です。娘が良いなあ。 |

以下の8名からも特に40周年を祝ってとの同様のコメントを頂きました。

金田 照俊会員、桑澤 一郎会員、渡辺 昌彦会員、五味 徳雄会員
伊藤 力会員、北原 享会員、堀江 藤夫会員、矢崎 貞和会員

その他多数の方から40周年のお祝いのコメントを頂きました。

出席報告

会員数 54名
出席 45名
出席率 83%

ROTARY CLUB OF CHINO WEEKLY

茅野ロータリークラブ40周年記念例会

本日の例会は茅野ロータリークラブ 40 周年記念例会。昨年より長崎寛文記念例会実行委員長のもと開催の計画を入念に練ってきました。コロナ感染拡大の中、一時開催中止も懸念されました。このような状況下、開催するために様々な制約があり、計画案の変更、中止も余儀なくされましたが、何とか無事開催することが出来ました。感染対策を充分にとり、予定されていた会食は中止し会合のみでの開催となりました。

なお参加者は全員、この日の為の特別仕様ロータリーロゴ入りマスクを着用して出席しました。

◆ 長崎寛文茅野ロータリークラブ創立 40 周年実行委員長挨拶 ◆

当クラブは、設立当初より会員相互の親睦や米山奨学生の送り出しや迎い入れに努力し国際交流と青少年の育成に多くの活動をクラブ全体で進めてまいりました。

しかし、コロナ暗線拡大に伴いほとんどの活動が停止状態になっている。しかし、この状況下でも 2 つの 40 周年記念事業を計画し記録に残るまた記憶に残る 40 周年を迎えたい。

その 1 つは、これからの地域を担う子供たちに環境について幼少の頃より関わりを持ってもらおうと共に、地域との関わりをより深く持つ為にも「やつがたけのちっち」という環境絵本を茅野市、原村、諏訪市と富士見町の保育園に贈呈をさせていただきます。未来の地域環境の向上に役立ててほしい。2 つ目の事業として 2600 地区国際ロータリー財団に留学政党未来を担う世代への応援になることを願い、クラブとして基金の贈呈を行う（二つの事業の詳細は下記に記載）



◆ 吉田会長より 40 周年記念事業の紹介 ◆

1. 茅野市、原村、諏訪市、富士見町の保育園に絵本「やつがたけのちっち」を寄贈
合計 1400 冊
2. 国際ロータリー財団に会員 54 名で、110 万円を贈呈



◆ 贈呈式 ◆

茅野市長・原村村長・矢嶋ガバナー補佐



ROTARY CLUB OF CHINO WEEKLY

◆ 来賓より祝辞 ◆

■ 茅野市長 40周年についてのお祝いと絵本の贈呈に対してのお礼、茅野市のコロナワクチン接種について、及び市の街づくりに新しいシステムを導入したい等の抱負を述べられた。



■ 原村村長 40周年についてのお祝い、原村について、未来の原村を担う子供たちについての思い、特にファーストブックの読み聞かせの大切さについて述べられた。



■ 成田守夫 2600 地区ガバナー（矢嶋ガバナー補佐代読）

40周年に対する2600地区からのお祝い、茅野ロータリークラブについて、多様の人々に門戸を開き発展していく必要がある等今後のロータリークラブの在り方について述べられた。



40周年記念特別例会の様様



ROTARY CLUB OF CHINO WEEKLY

